

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>① 昨年も要望している、老朽化した関の上橋の架け替えについて、本年度当初予算に計上されていましたが、再調査が必要になったようです。来年度には整備されるように早急に対応をお願いします。</p>	農林課	<p>当初、上部の床版のみを架け替えする計画でしたが、その後橋台を含めた架け替えが必要であるため、概算事業費を算出したところ、かなりの事業費が必要となり、平成23年度での対応は見送ったところです。</p> <p>今後は、3か年実施計画や優先すべき事業を考慮しながら検討していきたいと考えています。</p>
<p>② 倉津川、古瀬川等の土砂の堆積の除去をお願いします。若松地区では災害の土砂がまだ残っていますので、対応をお願いします。</p>	建設課	<p>倉津川については、村山総合支庁河川砂防課より現地調査をしていただき、部分的に土砂が堆積している箇所はありますが、全体的には河床がさがっているため、河床掘削をすることにより、護岸ブロックの基礎が表れてくる恐れがあるとの見解をいただいています。</p> <p>古瀬川の土砂の撤去については、村山総合支庁河川砂防課に現地を調査していただくよう要望しました。</p>
<p>③ 上貫津では近年サルの被害が多くなっています。サルの場合には経済的な損害が大きく、花火などの対策では効き目がありません。越王山でもサルが目撃されており、通学路にもなっているため非常に危険です。</p> <p>サルを捕獲し発信機を付けて、サルが接近した際に何らかの対策がとれるよう、サル対策の予算と具体的な指導をお願いします。</p> <p>クマ対策について、クマを捕獲する際の許可手続きが煩雑ですので、見直しをお願いします。</p>	農林課	<p>サルなどの有害鳥獣の被害対策については、広域的な対応の必要性から、平成20年5月に南奥羽鳥獣害防止広域対策協議会に加盟し、国や県の補助事業並びに市の単独事業により、サル接近警戒システムの設置等の事業を実施しています。</p> <p>今後は、農作物への被害にとどまらず、人的被害が想定されるため、各地区有害鳥獣対策協議会等の関係機関と連携を更に強化し、対策を講じたいと考えています。</p> <p>また、クマを捕獲する許可手続きについては、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」及び「山形県特定鳥獣（ツキノワグマ）捕獲許可事務の取扱要領」に定められた事務手続きを行っています。</p>

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>④ 一中の改築が行われませんが、これまでも要望してきた温泉原町線の道路拡幅の今後の見通しについて教えてください。</p> <p>また、越王山は貫津地区の通学路になっていますが、先日大きな落石がありました。道路は沼のへりで急な山なので、西側の道路を拡幅してくださるようお願いいたします。</p> <p>温泉原町線整備促進期成同盟会では、市道の通学路の拡幅についても具体的に要望しています。調査の段階であるとのことですが、早急に進めてください。</p>	建設課	<p>温泉原町線のバイパス化工事については、財政的な課題もあり難しい状況です。</p> <p>貫津沼沿線の市道については、道路に落石がないように、パトロールの強化や浮き石の除去を行っていきます。</p> <p>沼の南側の温泉原町線の一部区間の整備については、来年度に測量を行い、その後整備を行いたいと考えています。</p> <p>沼の西南角から一中に向かうカーブ部分の改善については、上記の道路整備完了後に着手する予定です。</p>
<p>⑤ きれいなまちづくりのため、伐採や剪定の指導などをしてしていますが、今の時期の枝の処理について、燃やすこともできず困っています。市でも枝を舞鶴山の駐車場に積み上げていると聞きます。剪定枝等の処理対策について検討してください。</p>	農林課	<p>農家の稲わらや果樹の剪定枝の焼却については、農業を営むためにやむをえない場合の特例として認められています。しかし、住宅等の建物や交通量の多い道路付近及び線路付近での焼却や、風のある日の焼却は行わないように農家全戸にチラシを配布して注意を呼びかけています。</p> <p>なお、天童市も加盟する村山地域果樹剪定等循環利用協議会では、家畜の敷きわらの代替やバイオマス発電施設の燃料等に使用するため、果樹の剪定枝のチップ加工による有効活用実験を行っています。今後、これらの成果を踏まえながら、恒常的な回収・活用の仕組み作りに取り組んでいく方針です。</p>
<p>⑥ 芳賀地区を整備していますが、津山でも石橋地区に19軒の転入がありました。地域の活性化にもつながりますので、各</p>	都市計画課	<p>これまでに、津山の石橋地区等、市街化調整区域内においては、集落部の定住人口確保のために、優良田園住宅制度や、地区計画制度の導入により、地域の活性化を図</p>

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>地域に計画的に整備をお願いします。</p>		<p>ってきました。</p> <p>芳賀地区の土地区画整理事業の推進とともに、市街化調整区域内においては、引き続き、優良田園住宅や地区計画などの、各種開発制度の積極的な活用による民間開発や、山形県住宅供給公社との連携によって、計画的な整備を図りたいと考えています。</p>
<p>⑦ V字溝の直播については、今年度は高掬地区に導入されましたが、技術的にはまだ完全に確立されていません。</p> <p>今年は特に天候の不順などもあり、農作物については不本意な結果となりました。県では生活困難のためのつなぎ資金も無利子で出すよう検討されています。天童市独自の安定した農業経営ビジョンを立ててください。</p>	<p>農林課 農業委員会</p>	<p>県では、平成22年産米の概算金が大幅に減額されたことに伴い、米生産者の資金繰りに支障をきたすことが懸念されるとし、そのための緊急的な措置として県単独で短期運転資金（米価下落対策緊急資金）が創設されました。</p> <p>本市としましては、戸別所得補償交付金が年内に支払われることや、米価が下落した場合の変動部分が年明けに国から示されることについての情報を、正確に農業者にお知らせするとともに、上記の県単独資金の申請状況や、米以外の農作物への要望を把握しながら市としての支援のあり方を考えていきます。</p> <p>なお、売れる米づくりへの対策として、平成21年度で廃止された特別栽培米担い手助成について、特別栽培米、直播き栽培、有機栽培の担い手を対象に、市単独予算での支援を継続していきます。</p>
<p>⑧ 婦人会の活動について、現在地域では3町内会だけの活動になっています。各町内で婦人会を立ち上げて、地区婦人会に加入してもらいたいと思います。</p>	<p>生涯学習課</p>	<p>市連合婦人会と市長、また公民館長との懇談会を開催し、今後の婦人会のあり方について意見交換をしたところ、婦人会の皆さんは、今後もなんとか存続させていきたいという考え方でした。</p> <p>現在、社会教育関係団体をはじめとする各種団体の組織力が弱体化してきていま</p>

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		<p>す。しかし、それぞれの団体の存在意義があり、目的の明確化や体制の見直し等を図りながら、身近な地域の問題や活動から輪を広げていくことが、団体を活性化していくために必要なことではないかと考えています。</p>
<p>⑨ 今年からプラスチックゴミの分別収集が始まり、リサイクルセンターの視察をしましたが、仕分けが手作業で行われていました。機会があるごとにゴミの仕分けについて広報や指導していただくと、作業が楽になると思います。</p> <p>プラスチックゴミの外袋は包装資材ではないということですが、一緒にプラスチックゴミとして処理することはできないのでしょうか。</p>	生活環境課	<p>4月から、新たにプラスチック製容器包装類の分別収集を始めましたが、まだ分別に慣れていない家庭もあり、プラスチック製容器包装類以外のものや汚れがひどいものの混入があるようです。今後とも分別についての啓発に努めていきます。</p> <p>プラスチック製容器包装類として分別していただくものについては、容器包装リサイクル法により、容器や商品を包装しているものを対象としています。ごみ袋は、それ自体が商品であり、容器や商品を包装しているものではありませんので、プラスチック製容器包装類の対象外となっています。このようなことから、プラスチック製容器包装類と一緒に処理することができないことになっていますので、御理解ください。</p>
<p>⑩ 来年、上貫津で中学生になる生徒は1名です。危険区域を通り1人で通学することになります。PTAの方が車で見守りをしてくださるのを見たこともありますが、とても心配です。</p> <p>また、津山小学校からは一中と二中に別れて進学します。一中では、ほとんどが南部小の子どもであり、津山小から6名だけで、馴染むまで時間がかかる</p>	教育総務課	<p>同じ小学校から、揃って同じ中学校に通学することが望ましいと思いますが、地理的な状況による通学距離の問題や、現在の学区が40年以上継続して定着してきたこともあり、学区変更は難しいと考えています。</p>

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
<p>と思いますし、学力の差があるのではないかと心配しています。20名ほどの小さな小学校で、なぜ別れなくてはならないのでしょうか。</p>		
<p>⑪ 道の駅の周辺に住んでいますが、10台ほどの車が夜中にアイドリング状態にいるので眠ることができません。これまで警察や陸運局に連絡をしてきましたが、なかなか解決しません。夏場は騒音で窓を開けることができない状況です。</p> <p>道の駅の第2駐車場西側には車上生活者がおり、周辺で用を足したり洗濯をしたりと大変迷惑です。</p>	都市計画課	<p>道の駅は、歴史や文化と特産品等の情報発信や、観光機能の一層の充実を図る拠点として、全国的に整備されており、観光シーズンを中心とする利用者の増加と共に、マナーの向上が大きな課題となっています。</p> <p>わくわくランドの道の駅も不適切な利用が見受けられるため、立て看板や関係機関との連携による巡回等により、適正利用の指導を行っていますが、目に余る行為がある場合は御連絡いただきたいと思います。</p> <p>なお、現在は長期に亘る車上生活者は見受けられませんが、今後、より一層利用者のマナーの向上と適正な利用の指導を行います。</p>
<p>⑫ 当初の説明では、わくわくランドに温泉つきの多目的交流会館を整備するとのことでした。その後、野外ステージや森林情報館ができましたが、温泉施設は建設されていません。マックスバリュ北側の保留地や、オルゴール館跡地などに、高齢者を対象にした温泉保養施設を整備してください。</p>	都市計画課 社会福祉課	<p>わくわくランドの温泉施設を含めた地域交流センターは、新たな観光・交流の拠点として、民間施設と一体となって整備する計画でありましたが、温泉施設については、関係機関との調整がつかず、野外ステージや芝生広場に計画を変更し整備しています。</p> <p>現在、温泉街に老人保養センター「かまた荘」があり、老人クラブ等の高齢者の会合等で御利用いただいています。</p> <p>施設は、昭和46年建設で築35年以上経過しており老朽化していますが、老人保養センターとしての機能を維持するため、</p>

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		当面は、修繕工事しながら運営していく考えです。
<p>⑬ 愛宕山の山頂途中のマツが2本、頂上では5本のマツが枯れています。近くに登山道があるので台風や暴風などで倒木し被害が出ないか心配です。民地もあり地権者との交渉もあるので難しいと思いますが、対応を検討してください。</p>	農林課	<p>愛宕山山頂にある航空標識施設とそれに送電する電線があるため、通常の伐採ができず枯れたままになっていますが、機具を使って倒す方法で、今冬から順次伐採を行っていく計画です。</p>
<p>⑭ 全国一斉学力テストが小学校6年生と中学校3年生を対象に行われましたが、今回からは抽出校となっています。本県の結果はどうなっているのでしょうか。</p> <p>また本市では希望してテストに参加したのか、またその結果などについて教えてください。</p>	学校教育課	<p>平成22年度全国学力調査の本県の結果は、小学校算数のB問題（活用問題）でやや全国平均を下回りましたが、他は全て全国平均を上回っています。</p> <p>天童市では、毎年、教研式標準学力テスト（NRT）を小学2・4・6年と中学校全学年で実施しており、個人毎のデータに基づき指導しています。NRTの個人資料は、全国学力調査の個人データより詳しいため有効と考えています。そのため、全国学力調査については、抽出校のみの参加としました。平成22年度のNRTの結果は、小学校4教科、中学校5教科全てにおいて全国平均を上回っています。今後も実態把握に努め、学力向上対策に生かしていきます。</p>
<p>⑮ いじめの調査結果について、天童市では減少しているようですが、全国的には暴力行為が増加しているそうです。忍耐力や自立心が足りないのが原因だと思いますが、暴力行為に対する手立てや対策、天童市の状況について教えてください。</p>	学校教育課	<p>今年度の天童市の児童生徒の暴力行為については、今のところ報告はありません。しかし、児童生徒の中には、様々なストレスを抱えている子や、発達障がいをもっているため、衝動的に行動してしまう子が存在します。そうした児童生徒へは、心に寄り添いながら共感的に受け止め、してはならない行為については毅然として指</p>

市民のこえ	所管課等	回答及び対応状況
		<p>導することを大切にしています。</p> <p>現在、天童市では、「すこやかスクールプロジェクト」に取り組み、衝動的に行動してしまう児童生徒等には個別の支援計画を作成し、個に応じた指導に取り組んでいます。</p>
⑯ 校長や教頭が多忙に追われて、思うように仕事が回らないと言われていますが、管理職の問題について文部科学省はどのように考えているのでしょうか。	学校教育課	<p>教職員の多忙化解消については、文部科学省でも課題となっており、施策としては、都道府県教育委員会の判断で少人数学級編制ができるようになりました。また、加配教員をできるだけ配置するよう努力がなされています。平成23年度から小学校1・2年で1学級を35人までとし、段階的に小中学校は全ての学年を35人学級にする方針が出されています。</p> <p>なお、市内小中学校については校務改善運動を進めており、業務の精選や組織の改変を行うとともに定時退校日を設けるなどの対応をしています。</p>